

## 多様化する ハラスメント

2023年 Vol.174

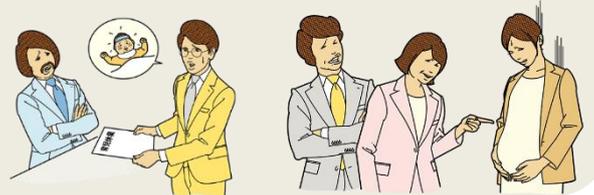
### ハラスメントとは？ハラスメントの種類

ハラスメント（Harassment）とは悩ますこと、嫌がらせという意味です。代表的なものをいくつか紹介します。

#### ● マタニティハラスメント

上司・同僚からの言動（妊娠・出産したこと、育児休業等の利用に関する言動）により妊娠・出産した女性労働者や育児休業等を申出・取得した男女労働者の職場環境が害されること。

例：産前産後の休業制度を利用させてもらえない  
急に仕事を与えなくなる・退職を促される



#### ● セクシュアルハラスメント

職場におけるセクシュアルハラスメントは、「職場」において行われる、「労働者」の意に反する「性的な言動」に対する労働者の対応により、労働条件について不利益を受けたり、「性的な言動」により就業環境が害されること。同姓に対するものも含まれる。

例：必要なく触れる・食事やデートへ執拗な誘い・  
女なんだから、男なんだからといった言動



#### ● パワーハラスメント

職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内での優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与えるまたは職場環境を悪化させる行為。なお、客観的にみて、業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導については、職場におけるパワーハラスメントには該当しない。

##### ① 身体的な攻撃



##### ② 精神的な攻撃



##### ③ 人間関係からの切り離し



##### ④ 過大な要求



##### ⑤ 過小な要求



##### ⑥ 個の侵害



## パワーハラスメントの現状

厚生労働省の「職場のハラスメントに関する実態調査（令和2年度）」によれば、従業員の3人に1人が「過去3年間にパワーハラスメントを受けたことがある」と答えています。

パワーハラスメントは、働く人が能力を十分に発揮することの妨げになるのはもちろん、個人の尊厳や人格を不当に傷つけるなど、人権に関わる許されない行為です。また、企業にとっても、職場秩序の乱れや業務への支障が生じることや、貴重な人材の損失につながります。

また、現在はハラスメントの種類も増え、モラルハラスメント・マリッジハラスメント・スモークハラスメントなど30種類以上あります。

## ハラスメントと感じたら？



① まずは相談を！

決して一人で悩まないでください。会社や友人に相談するほか、会社の窓口や人事担当者、外部にも利用できる窓口があるので相談しましょう。

② 解決に向けた相談の準備として証拠・書類を保存しておくのが有効です。



## もし自分がハラスメントをやってしまったら？

### 【民事責任】

損害賠償を請求される場合があります。

- あなた：不法行為責任に基づく損害賠償請求（民法第709条）
- 会社：債務不履行責任（安全配慮義務違反）に基づく損害賠償請求（民法第415条）



### 【その他の影響】

上記責任以外でも次のような影響が出る可能性も！

- 職場内の信用喪失、地位の失墜
- 家庭内崩壊などのプライベートへの波及



労働施策総合推進法の改正に基づき2020年（令和2年）6月1日から、職場におけるハラスメント防止対策が強化されました。そして「パワーハラスメント防止措置」が令和4年4月1日から中小企業の事業主にも義務化されています。

## ハラスメントを防止する為には？



様々なハラスメントを防止する為にも妊娠出産等の知識や制度についての理解、無意識に相手を傷つける様な言動や行動をしていないか、相手に自分の価値観を押し付けていないかなど、普段から気をつけておくことが必要です。

思わぬことで無意識の行動が業務の適正を超え、ハラスメントに繋がる可能性もあります。日頃から業務のあり方を見直しておくとともに、ハラスメント窓口や担当部署、上司からハラスメントに関する指導や研修を受けておくことも重要です。

